

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、大石、矢籠原、平沼、平野、小関、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	3	5	1	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	7	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	0	4	5	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	2	5	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人やご家族が利用しやすい様に、担当ケアマネや利用者を知っている職員が中心になって、支援する体制をとっている。 ・あまり関わりのない職員は、その場の空気を読んで、ズカズカと入って行かない関わりなどに気を配った。 ・言葉かけ等に注意をした。 ・利用目的等を確認して、関わり方に注意を払った。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前の情報共有が一部の職員に限られていた。 ・全員参加でミーティングするのは勤務形態等から難しい。全スタッフに情報を共有するための方法が定まっていない。 ・情報を提供されるのを受け身で待っていた。 ・利用開始後もご本人やご家族と接する機会のない職員もいる。 ・関わる人を限定しているために、利用開始後も情報の共有不足がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>① 利用開始が決まったら、担当ケアマネがご利用者とご家族の概要が分かるような様式に記入し、職員全員が確認する様にする。</p> <p>② 担当ケアマネは朝礼時や空き時間など随時ミーティングを開催し情報の共有に努める。</p> <p>③ 職員は当事者意識を持って、わからない事や気が付いたことを担当ケアマネに伝え、担当ケアマネはそれをミーティング等で全職員にフィードバックするなど報・連・相を徹底する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 20 日 (9 : 00 ~ 10 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、大石、矢筈原、平沼、小関平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	4	2	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	3	1	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	4	1	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	1	5	1	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・実際に関わっているケアマネがプランを作成しているので何とか出来ている部分はある。
- ・本人との関わりのなかで「～したい」気持ちをわかるようになってきている。
- ・自宅で過ごしたい、買い物をしたいなどの思いには自分たちでできる範囲のことはできている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ケアマネに任せきりで共有できていない。周知不足、全体での作戦会議ができていなかった。
- ・プランがあっても業務の都合で行動に移せなかった時がある。
- ・認知症があり本人に聞いてもわからなかったり表現することができない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ① 記録を活かす→どんな気持ちで本人と関わったのか、その結果本人にどのような変化や表情があったかなど記録しそこから本人の「～したい」を引き出していく。
- ② 職員間で理解内容を確認し共有する
→ケアマネが作成したプランを職員に伝え「～したい」をささえていくために職員それぞれの役割を認識し本人を取り巻く環境を活かす計画をたて実行していく。
- ③ 実践した関わりで分かったことをミーティングなどで話し合い、その時の変化に合わせた関わりをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (9:00~10:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、大石、矢筈原、平沼、小関平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	3	4	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	7	1	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	2	5	1	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	5	2	1	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	3	4	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な介護はほぼ全員できている。介助方法などよりよく安全に行うために研修やスタッフ同士で確認しあうことで向上してきている。 ・利用者の会話や表情などから理解できることを職員間で話し変化があればその都度関わりや介助方法を変えている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ不足。本人からだけでなく家族や地域からの聞き取りなど足りていない。 ・内面的な部分の変化に気づけていないときがある。 ・自分の経験や価値観で判断しこちらが良いと思っても本人には合っていない場合がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・本人に変化があった時はその都度ミーティングなどで話し合い、本人に合わせた支援をしていく。 ・本人だけでなく家族や地域からも今までの暮らしや好みなど知り支援に活かしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 12 月 6 日 (10:00 ~10:30)
------------------	-----	---------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	蔵前・宮脇・矢作・大石・平沼・小関・小野田
---------------	------	-----------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	4	1	7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	2	5	0	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	0	7	0	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	1	3	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の方を以前住んでいた地域の行事等に参加してもらっている。 三地区の地域行事に参加している。敬老会をよるべきで行った。 定期的に自宅に帰る支援をしている。(1名) 月に1回はご家族と会って話をしている。必要時ご家族と連絡を取り合っている。2か月に1回家族会を開催している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 今まで地域の方やご家族が行っていた事を事業所が代わって行う事で、地域やご家族の役割を取り上げている可能性がある。 なんでも事業所がしなければならないと思っていた。 ご家族と話す職員が限定されている。話す機会はあるが、時間が短い。十分に聞けている人もいる。 地域の方とご利用者が触れ合う場が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ご家族や地域の方に相談しながら、一緒になって支援してもらう機会を作る。(なんでも相談していく。) 連絡帳で状況をやり取りしていないご家族に対し、請求書送付時に近況など書いた物を同封する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 5 月 13 日 (15:00~16:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、大石、矢筈原、平沼、小関、平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	1	3	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	5	0	3	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	6	1	1	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	6	1	1	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人を支えるために地域と協力している。
- ・決められた日課ではなく本人の状態、ニーズに合わせた関わりができている。
- ・利用者と一緒に地域の行事に参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の方がどのように動いてくれているのかわからないことも多い。
- ・訪問が手薄だと感じる。通いを利用している時の様子しかわからないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・本人を支えるために地域と協力し関係を切らさない支援をしていく。
- ・運営推進会議でいろんな意見をもらい生かしていく。
- ・本人のわずかな変化に気づき全体で共有するために朝礼やミーティングでその都度話し合い、話合った内容を記録する。担当ケアマネはそれらをまとめて、具体的な関わりを決定し職員に周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 9 日 (14 : 50 ~15 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 蔵前・宮脇・平沼・小関・小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	0	2	3	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	1	2	5
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	0	1	2	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	3	0	0	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・町が開催する会議には極力参加する様にしている。
- ・朱鞠内地区の行事に参加している。
- ・消防団員がいる。
- ・大山先生と随時連絡を取りながら、支援にあたっている。
- ・地域交流事業を積極的に行い、地域の皆さんに事業所を訪れていただく機会を作っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・幌加内から通勤している職員が三地区の行事になかなか参加できない。
- ・交流事業以外の機会に地域の方に来てもらえない。
- ・多職種を入れた担当者会議を開催できていない。(それぞれ別に聞き取りしている。)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・幌加内から通勤している職員が、地域行事に参加できるようにシフトの工夫を行う。
(行かない行事が無いようにする。行事に参加できるように職員の確保を図る。)
- ・更新認定時に行う担当者会議には、主治医や福祉用具事業者、ご本人、ご家族を含めた会議を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 9 日 (15:30 ~16:00)

7. 運営

メンバー 蔵前・宮脇・小関・小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	3	2	1	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	3	0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	2	0	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	3	0	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・運営推進会議を 2 か月に 1 回開催し、地域の皆さんから意見を頂いている。
- ・理事会の中で運営に関する意見を頂いている。
- ・月に 1 回職員会議を開催している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職員会議は開催しているが、組織や小規模多機能の仕組み等がわからず、運営について意見を言うところまで至っていない。
- ・ご利用者の支援内容等については、職員の意見を十分に聞き取っていない。シフト性の勤務のため、全員と一堂に会する機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・職員会議を効率的に開催できる様に、事前に会の進行について管理者と記録者が話し合う。
- ・ご利用者の支援内容等については、担当ケアマネが意識的に他の職員から意見を聞き取る時間を作る。プランが出来た時は朝礼の時などに、簡単に説明する等の工夫をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 9 日 (16:05 ~16:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 蔵前・宮脇・小関・小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	2	1	0	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	0	1	6
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	0	2	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	0	6	0	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職場内研修を月に 1 回開催している。
- ・業務を調整して必要な研修に参加してもらうようにしていた。
- ・ケアマネの人は地域連絡会に参加している。
- ・ノロウイルス等の感染予防に関する研修を年 1 回は行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職場外の研修に参加できる人的余裕がない。研修情報に乏しい。
- ・ケアマネ以外の方が地域連絡会等に参加する機会がない。
- ・「大丈夫かな?」と思ってもそれを事業所全体で話し合うまでになっておらず、リスク管理が十分ではない。ヒヤリハットの報告をするが、予防対策を皆で話し合う場を作っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・職員を増やす。
- ・あちこちから届く研修案内等を職員が見えるところに置く。
- ・ヒヤリハットをまとめて月に 1 回の職員会議で話し合う。
(管理者と記録者で行う事前の職員会議打ち合わせでヒヤリハットを拾い出す。)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (9 : 30 ~10 : 10)

9. 人権・プライバシー

メンバー 蔵前・宮脇・矢作・矢筈原・平沼・小関・小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	大	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	2	0	0	7
②	虐待は行われていない	2	5	0	0	7
③	プライバシーが守られている	0	6	1	0	7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	-	-	-	-	-
⑤	適正な個人情報の管理ができています	0	7	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束はしていない。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行が不安定な人が立とうとすると「座っていて」と言って制限してしまう。 ・時に感情が出て、きつい言葉を言うってしまう。 ・他の利用者さんの前で「トイレに行きましょう。」と大きな声で誘う事がある。 ・記録を開いたまま席を立つ事がある。 ・成年後見制度は必要な方がいないため、行っていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理に注意し、記録類が他の人に見られない様に配慮する。 ・虐待やプライバシー保護に関する研修を行い、再度、自分の行動の振り返りをする。 	